

市民フォト

No.19・2014年夏号

ふくしま

夢

通信



つちゆ芸術万華郷実行委員会メンバー

特集 第2回「アラフドアートアニュアル2014」



土湯温泉町×現代アートのチカラ

会期 平成26年 9/5(金) ▶ 10/13 (祝・月)

■問い合わせ/つちゆ芸術万華郷実行委員会 [熱元気アップつちゆ内] ☎024-594-5037

未来に何を残していきたいか
言葉を超えて感じ合う

まちづくりと芸術活動
思いのすり合せに苦労

きっかけは、震災前に16軒あった土湯温泉町の旅館のうち5軒も廃業に追い込まれたことでした。「未来が想像できない混沌の中、自分たちの手で何ができるのか。協力してくれた大学の方などを交えて、何回も話し合いを重ねました。そして、現代アートという新しい可能性にたどり着きました」と実行委員長の佐久間智啓さん。街の活性化をコンセプトに2年に一度、芸術祭を開催している町があると聞き、平成24年5月に「中之条ビエンナーレ」(群馬県中之条町)を視察しました。「土湯でも開催をと思い、翌年秋の実現を目指して12月に土湯温泉町の有志を中心に実行委員会を立ち上げました」

地域の反応は、現代アートという未知のものに、不安や心配があり最初は距離がありました。しかし、一軒一軒あいさつをして回ったり、一生懸命準備を進めるうちに街の人たちからの理解や協力を得ることができました。

最も時間をかけたのは、実行委員会とアーティストの皆さんの思いのすり合せでした。「『まちづくり』と『芸術活動』と、相いれないものを一つにしようとするから無理が生じてくる。ならばあえてそこは、相いれなくていい。アーティストの皆さんには、我々が芸術活動を通してまちづくりをしようとしているこの環境を活用して、芸術活動をしてくださいと伝えました。そこから互いの気持ちがあはれてつながって行きました」

一段と高くなった秋空の下、開催された第1回「土湯アラフドアートアニュアル」には、39日間で約1万2,000人が訪れました。土湯温泉町内15カ所に展示された現代美術を自由に巡って楽しんでいました。「予想を上回る反響。しかも初めて土湯温泉町を訪れるお客様が多く、本当にうれしい手応えでした」

土湯温泉町の「アラフドアートアニュアル」は、地域再生や人と人をつなぐ「まちづくり」の一助にしたいと始めた活動です。国内外のアーティストの作品が飾られ町全体をアートにした昨年の第1回目の芸術祭には、全国から約1万2,000人が訪れました。これまでの経緯や第2回の見どころなどをつちゆ芸術万華郷実行委員会(以下、実行委員会)の委員長・佐久間智啓さんにお聞きしました。

※アラフド(新踏土):「初雪を踏み固め新しい道筋を作る」ことを意味する地元の言葉
※アニュアル:年1回行われる

第2回も「思い」と「夢」「希望」で開催

土湯温泉町のために、自分たちにも何かできないかと何度も話し合いました。実行委員会も全てが初めてのことで、いくつかの問題をみんなで知恵を出し合って解決してきました。第2回も、みんなの『熱い思い』と『夢』『希望』を一つにして準備を進めていきたいと思っています。



つちゆ芸術万華郷実行委員会委員長
さくま ともひろ
佐久間 智啓さん

- 1 「部屋の部屋」清水玲さん
- 2 「起き上がりコケシ」山崎哲史さん×いずみひなさん×小杉朋子さん
- 3 「つち大根」山田浩之さん
- 4 「DAILY ART CIRCUS003」開発好明さん他
- 5 「ほくらのラビュタ作戦」筑波大学創造的復興プロジェクト体験・体感ラボ
- 6 作品以外にも土湯こけしの行灯などがあります

※5・6 福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyoの協賛事業です

今秋、エリアを拡大して開催!!



見方や感じ方に
答えがないのが
現代アートの魅力

現代アートの魅力を実行委員会の皆さんは、「答えがないところ」と話します。「見方や感じ方も人それぞれ。なぜ、ここに展示物があるのか： 考えるところ、考えさせられるところに面白みや気付きがあります」

例えば、1本1万円の陶器の大根を並べた無人販売所（P3写真3参照）。高さ約10mもある巨大こけしの壁画（P5写真「無題」参照）。「こけしは、作家さんたちにも人気で、こけしにインスパイアされた作品があります」



▲土湯こけしに触発され、新しい作品が生まれていく

土湯を映す鏡になった作品もありました。「土湯俯瞰図」は、土湯の現在、過去、未来を、制作現場に來られた皆さんの話を聞きながら仕上げている公開制作でした。「昔の話は饒舌な」のに対して、未来になるとなかなか出てこないのが「悩み」という作家さんの話に「もしかしたらそれは土湯全体の悩みなかもしれない」と思ったそうです。



▲土湯俯瞰図

小さな温泉地から
広がる芸術祭に期待

2回目の開催になる平成26年度は、福島市と共催で土湯温泉町から土湯温泉郷、四季の里や、荒川流域まで会場を広げて開催する予定です。「福島市内の自然を含めた文化資源を、国内外で評価の高い現代アーティストの皆さん39組と協働してアートを身近なものにしていきます」



▲第2回開催に向けて5月には、参加予定アーティストによる現地視察が行われました

土湯こけしは東北3大こけしの1つ。こんなに大きくなりました!

実行委員会 今泉 強さん



第2回参加予定

(撮影/市民カメラマン 中山真波さん)

「無題」

SUIKO さん スイコ
世界で活躍しながらも地元広島のストリートシーンの活性化に心血を注ぐグラフィティアーティスト。グラフィティショップ兼スタジオ「dimlight」代表。廃墟となった旅館の11メートルの壁面にスプレーされたのは、伝統の土湯こけし。



第2回参加予定

(撮影/市民カメラマン 中山真波さん)

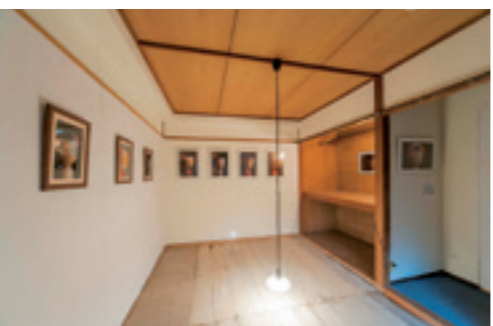
「差室」

阿部 乳坊 さん + 総合研究大学院大学
Nyubo Abe

今見ている世界をアートや科学の目線から見るための茶室。人々の考えの「差」がその空間には現れます。開催期間中は「差の湯の会」を開催し自然科学研究者とアートについて語り合いました。

青年部と町のみんなが協力して素敵な茶室を作りました!

実行委員会 渡邊 利生さん



第2回参加予定

(撮影/宮本和之さん)

「木でこの肖像」

佐藤 一弘 さん
Kazuhiro Sato

土湯温泉町で80年以上続く写真館の三代目は、ライフワークとしてピンテーゼこけしのポートレートを撮影し続けている。木に宿された命の表情が豊かに表現されています。

土湯温泉在住のアーティスト! 土湯こけしにも会いに来てください!

実行委員会 渡邊 樹璃菜さん



(撮影/宮本和之さん)

「風神」

鈴木 喬 さん
Takashi Hokoi

炭焼きのために何度となく切られながらも数百年を生きたケヤキにつけられる愛称「山爺」。困難に負けずに生き抜いた山爺が風神となり蘇ります。

町の人の協力で、土湯の樹齢数百年の枯木が蘇りました!

第2回参加予定

実行委員会 相模 龍太郎さん



第2回「アラフドアートアニュアル2014」 39日間39アーティストが参加する、年に一度の芸術祭。

私たちはこれから書き記される歴史の中に生きています。まだ書き記せない未来と、書き記すべき過去を持ったこの土地で開催される芸術祭で、記録ではなく文化の記憶を作ります。急激に変わった町の景色とみんなの思考を、どのような思想で見ていくのか。「復興、元気、町おこし」といった定型化された言葉にとらわれない、現代美術の独立した展示で、その試みはなされます。

(総合ディレクター ユミソン)

会期：平成26年9月5日(金)～10月13日(祝・月)
会場：福島市西部(土湯地区/荒井地区/警梯・吾妻地区)
参加アーティスト(予定)
青山悟、アサノコウタ、阿部乳坊、有賀慎吾、飯山由貴、遠藤麻衣、河川遥、川田淳、北川貴好、葛谷允宏、佐々瞬、佐藤一弘、SUIKO、小西智恵+菅谷奈緒+A.Y.K.K.project、バーバラ・ダーリン、藤井光、増本泰斗、三田村光土里、鈴木喬、山本高之、松下徹、湯道、他 (敬称略)
主催：つちゆ芸術万華郷実行委員会 共催：福島市
助成：公益信託うつくしま基金、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団
問：つちゆ芸術万華郷実行委員会【榎元気アップつちゆ内】
☎024-594-5037
WEB: http://arafudo.net

スポーツ・レクリエーションで 元気づくりを応援!!

スポーツ・レクリエーションで
元気づくりを応援!!



福島市開催の

注目競技

スラックライン全国大会

【会場】うつくしまふくしま体験ひろば

9/20[±]

スラックラインは、スキージャンプの葛西紀明選手もトレーニングに取り入れていたという体幹を鍛えるビューティースポーツです。ジャパンオープンに次ぐ大きな男女混合の大会を開催します。日本中から集まるトップアスリートの演技を目の当たりにできるチャンス!体験もできます。



車椅子レクダンス

【会場】あづま総合体育館

9/20[±]

障がいのある方、高齢者の方も車イスを活用し社交ダンスやフォークダンス、レクダンスと一緒に楽しむことができる種目です。



スポーツテンカ

【会場】うつくしまふくしま体験ひろば

9/20[±]

吉本興業ワッキーさんのプロデュース「スポーツテンカ」は、相手がアンダースローで投げたボールをキャッチするスポーツです。体験からスタートして、すぐに第1回選手権大会を開催します。当日は、ワッキーさんも来福する予定です。



▲大会成功に向けて意気込む佐藤さん

第68回 全国レクリエーション大会2014福島

平成26年9月19日(金)・20日(土)・21日(日)

メイン開催地/福島市

あづま総合運動公園、国体記念体育館、十六沼公園、アクティブシニアセンター A・O・Z(アオウゼ) 街なか広場、さんかく広場、JR福島駅東口広場、駅前歩行者天国 ほか

問い合わせ先

特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会

☎024-544-1886・024-572-3133 E-mail: info@recfuku2014.com

今秋、スラックラインやスポーツテンカ(左頁参照)など、「ニュースポーツをはじめ体験ひろばや研究フォーラムなど、レクリエーションにまつわるさまざまなプログラムを楽しめる」第68回全国レクリエーション大会2014福島(以下、全国レク大会)が開催されます。福島市をメイン会場に繰り広げられる大会の魅力をご紹介します。

福の仕上げは福島で

9月に開催される全国レク大会は、公益財団法人日本レクリエーション協会とNPO法人福島県レクリエーション協会、福島県と福島市をはじめ開催自治体などで行う実行委員会が主催します。県内18市町村の36会場で楽しめる競技は約20種。メイン会場になる福島市では、競技のほか、スポーツ・レクに関する16の公開セッションも開催されます。全国レク大会の事務局を務める佐藤喜也さんは、「日本中から集まる生涯スポーツ・レクリエーションファンの皆さまに、福島を見ていただき、お客さまとの交流を通してスポーツ・レクリエーションの素晴らしさや可能性、日々の暮らしに対する

る恵みなどについて広くお伝えしたいと思っています」と話します。

招致は、2010年からの大きな目標でした。掲げた矢先、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故に見舞われました。「続けていいものか悩みましたが、風評被害は止まず、風化も心配でした。開催スケジュールを見ると第66回が福井県。第67回が福岡県。ならば福の仕上げは、福島以外ないと思いました」

多彩な種目から自分に合うレクを見つけよう

多彩なプログラムの中でも見逃しにくいのが、エコスポーツ※2「クッブ」やヒップホップダンスなどさまざまなスポーツ・レク種目が体験で

きる「うつくしまふくしま体験ひろば」です。会場は、JR福島駅や福島市街なか広場、さんかく広場など。福島市A・O・Zには、福祉バレーボール「フーバ」や手作りキャンドルなど屋内体験コーナーが設置されます。コラッセふくしまでは、研究フォーラムも開催されます。「『福島の子どもたちが元気になったら、日本中の子どもが元気になれる』と、思い子どもに関するセッションを研究フォーラムの中心に据えました」。他にも、車椅子レクダンス、全国初の水風戦大会、新潟県の友情企画「レク式バイアスロン」など、どのプログラムにも福島を想う熱い心が詰まっています。ぜひ、この機会に自分のライフスタイルに合うレクを見つけて、元気で健やかな毎日に役立ててください。



▲子ども向けのプログラムも予定されています

※1 ニュースポーツ：20世紀後半以降に考案されたり、日本に紹介されたりしたスポーツ
※2 クッブ(kubb)：「まき」という意味。北欧発祥のスポーツ。まきを投げて相手の陣地に迫る陣取りゲーム

夏

を彩る 福島市の夏まつり

■第45回福島わらじまつり

福島市の夏の風物詩「わらじまつり」が今年も開催。両日とも“日本一”の大わらじを担いで練り歩くパレードを予定しています。風流な「わらじおどり」、軽快なリズムに乗せて踊る「ダンシングソーダナイト」など福島の夜を熱く盛り上げます。



(撮影/市民カメラマン 中山真波さん)

と き/8月1日(金)・2日(土) 午後5時～
 ところ/国道13号信夫通り
 問/福島わらじまつり実行委員会(福島商工会議所内)
 ☎024-536-5511
 【公式ホームページ】URL <http://www.waraji.co.jp>

■福島七夕まつり・花市

●七夕まつり

色鮮やかな「七夕飾り」がパセオ470を飾ります。

と き/8月6日(水)
 ~8日(金)



(撮影/市民カメラマン 穴戸良之さん)

●花市

市内の園芸農家が季節の花を持ち寄り販売します。

と き/8月12日(火) 正午～午後8時
 ところ/パセオ470

問/置賜町スズラン通り商店街協同組合
 ☎024-521-1515

■第36回 福島花火大会

「夜空を彩り、響きあう ひかりのパレード」をテーマに約1万発の花火が打ち上げられます。

と き/8月9日(土)
 午後7時30分～8時40分
 ※荒天時は10日(日)に順延。

ところ/信夫ヶ丘緑地
 (阿武隈川・松川の合流点)
 【大会当日の実施有無の確認方法】
 音声ガイダンス
 ☎0180-99-3590

問/ふくしま花火大会実行委員会
 (商業労政課内)
 ☎024-525-3720



(撮影/市民カメラマン 佐久間智之さん)

■福島とうろう流し

送り火の中、願いを込めた「とうろう」が阿武隈川の河畔に並べられ、花火が打ち上げられます。



(撮影/市民カメラマン 穴戸良之さん)

と き/8月17日(日)
 午後6時30分～
 ところ/県庁裏阿武隈川河畔
 問/福島とうろう流し発興会 ☎024-546-3160

ふくしま市の動画を配信中!



問/広報広聴課 ☎024-525-3710

YouTubeで福島市の動画を配信しています。福島市の“今”を動画でご覧になれます。福島市ホームページ総合トップ左下バナー「ふくしまチャンネル」からご覧ください。

1ch ... 復興・福島の魅力発信

東日本大震災からの復興に向けた取り組み、福島市の魅力や情報を配信します。お祭りの動画もこちらから。

2ch ... ふくしま大好き! 福島ユナイテッドFC

福島市をホームグラウンドにJ3リーグで活躍する「福島ユナイテッドFC」のメンバーが、福島市の魅力やおすすめスポットをPRします。

3ch ... モモッと大好きふくしま ももりんが行く!

観光PRキャラクター「ももりん」が福島市の名所や施設を訪ね歩きます。今まで知らなかった福島市の魅力を発見できるかもしれません!

CONTENTS

2 特集
 第2回「アラブドアートアニュアル2014」
 土湯温泉町×現代アートのチカラ

6 第68回「全国レクリエーション大会2014福島」開催
 スポーツ・レクリエーションで
 元気づくりを応援!!

8 インフォメーション
 ●夏を彩る 福島市の夏まつり
 ●ふくしま市の動画を配信中!

表紙紹介



「おいしそうに色付いたモモ」

撮影: 中山 真波 さん
 (市民カメラマン)

表紙説明:
 「くだものの宝宝箱ふくしま市」の夏。ピンクに色付く果汁たっぷりのモモが旬を迎えます。福島市の農家の皆さんが丹念に育てた至高のモモを、ぜひご堪能ください。

市民フォト・ふくしま夢通信

平成26年7月1日 発行 No.19 2014年 夏号

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/>

編集
 発行

福島市役所 広報広聴課

〒960-8601 福島市五老内町3-1
 ☎024-525-3710 FAX024-536-9828
 E-mail: kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

ホームページもご覧ください

福島市

検索

クリック

YouTube

チャンネル → ふくしまチャンネル

twitter

アカウント → fukushimacity

Facebook

アカウント → 福島市